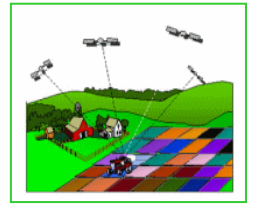


北海道情報化農業ニュース

北海道における持続的な農業の発展のための情報技術の活用促進
およびその健全な普及を図る。



● 「GIS DAY in 北海道 2013」開催案内 ● ● ●

号外 2013. 10. 30

酪農学園大学農業環境情報サービスセンターより「GIS DAY in 北海道 2013」の開催案内がありましたので、お知らせします。

「GIS DAY in 北海道 2013」 —北海道の冬と雪、GIS の活用—

【開催趣旨】

GIS Day in 北海道は、北海道の GIS、リモートセンシングに関わる、興味のあるみなさまの交流の場です。
今回のテーマは、「北海道の冬と雪、GIS の活用」。北海道等、寒冷降雪地における GIS 利用には、まだまだ可能性があると思いますが、今回は、ここにフォーカスし、冬の防災やエネルギー、産業振興、自然環境保全等における GIS やリモートセンシングの活用の可能性を掘り下げます。

■開催日時： 2013/12/ 6 (金), 2013/12/ 7(土)

■開催場所： 酪農学園大学(〒069-8501 北海道江別市文京台緑町 582 番地)

■主催： GIS Day in 北海道 実行委員会(酪農学園大学 農業環境情報サービスセンター)

■後援： 特定非営利活動法人 Digital 北海道研究会

<公開シンポジウム 12月6日(金) 10:30~16:00>

寒冷降雪地における GIS の活用について、その可能性を考えていきます。

基調講演

- ・「吹雪災害と交通管理への GIS 利用の可能性」
萩原 亨 氏(北海道大学大学院工学院 北方圏環境政策工学専攻教授)
- ・「国土地理院 G 空間情報の整備と取り組み」
永山 透 氏(国土地理院北海道地方測量部 部長)

講演

- ・「石狩平野のシカの季節移動—降雪と積雪の影響は？」
吉田 剛司 氏 (酪農学園大学 農食環境学群 教授)
- ・「雪割り・土壌凍結深制御による野良イモ対策」
広田 知良 氏 (北海道農業研究センター生産環境研究域 上席研究員)
- ・「スノーリゾート管理における GIS、GPS 活用方法の検討～星野リゾートを事例として」
吉村 暢彦 (酪農学園大学 農業環境情報サービスセンター 特任研究員)
- ・「再生可能エネルギー・地中熱利用とリモートセンシング」
山田 知矢 氏 (特定非営利活動法人地中熱利用促進協会)

<パネルおよび機器展示 12月6日(金) 12:00~16:00>

企業様による最新機器やソフトウェアの展示等を行います。

<GIS・RS 講習会 12月7日(土) >

ESRI 社 ArcGIS10.2 リリースセミナーに加え、Python の活用、写真判読や衛星画像分類技術講習、等を予定。

【お問い合わせ・お申し込み】

GIS Day in 北海道 事務局(酪農学園大学農業環境情報サービスセンター(担当 吉村))

〒069-8501 北海道江別市文京台緑町 582 番地

TEL / FAX:011-388-4864 E-mail:gisday@rakuno.ac.jp

※最新の情報は、Website または、Facebook「GIS Day in 北海道」でお知らせしていきます。

<http://www.rakuno.ac.jp/dep25/gisday2013/>

※ 本配布物掲載の内容は、予告なく変更する可能性がございます。最新情報については、facebook ページおよび Web サイトでご確認下さい。

<発行>北海道高度情報化農業研究会
事務局: 館山 則義
〒060-0005 札幌市中央区北5西6-1
公益財団法人北海道農業公社
TEL: 011-241-7551 FAX: 011-271-3776
e-mail: tateya@adhokkaido.or.jp

編集委員: 丸山 健次(酪農学園大学)
TEL&FAX: 011-388-4864